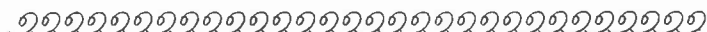


2000～2001年度秋のライラ報告



青少年活動委員会

委員長 有賀 一夫 (大阪咲洲)

大阪北淀ロータリークラブ

会長 篠塚 隆弘

実行委員長 菅本憲市郎

20世紀最後のライラ、2000～2001年度RI第2660地区主催の『秋のライラ』はつつがなく終わった。毎回いろんな議論が出るライラ。その渦中にあっても地区の威信、ホストクラブの名誉にかけても立派に仕上げねばならない。一年余りの準備期間を経て、毎例会では『本番迄あと何日』とカウントダウンをして会員の意識を高めながら、漸く2000年9月23日、森之宮の大阪府立青少年会館での上級のプレキャンプでライラの幕が切って落とされました。



その後、煮詰めに煮詰めの作業を繰り返し、10月7日の初日を迎えました。ロータリアン約400名、上級10名、初級115名の多くの登録を得ました事は全クラブのご協力の賜物と感謝致します。チームライラの皆さんや、能勢の野外活動センターのスタッフの方々の絶大なるご協力を得て、実現できました事を、地区青少年活動委員会及び大阪北淀ロータリークラブを代表して心から御礼申し上げます。

初日は新大阪ワシントンホテルプラザ、アレナホールでの上級、初級の開講式に続きオリエンテーション。そして、当クラブのテーマ、翼ばたけ『21世紀 君は何をする』～私がかわる、私達が変わる～に沿った亀山つとむ氏(枚方リトルリーグ監督)の基調講演を参加者全員私語もなく拝聴した。そしてバスによる能勢への大移動。夜は懇親の野外パーティーに続きキャンプファイアーでのテーマ紹介リーダー会議等で多彩な初日は終わった。上級は能勢への移動後、グループが知り合い、力を併せるアクティビティ。

2日目、ロータリアン、チームライラ、能勢のスタッフによるオリジナル「ダイナミックスポーツラリー」ではロータリアンを含む参加者全員で汗をかく。夜はすき焼きパーティーにて全13班が各班毎の面白評価。テーマ討論会、リーダー会議etc。上級はグループで取り組む冒険プログラムで終日過ごし、夜はファイアーサイドトーク。ロータリアンと上級参加者との年齢を越えたトークは大いに盛り上がりました。

3日目、いよいよ最終日を迎えました。リーダー会議に続き、体育館でテーマ最終調整後直ちに発表。今回のテーマ発表はパフォーマンスを排除し「言葉」による発表のみで、伝える方も聴く方も真剣であり、私語もなくその心意気がしっかり伝わった。他クラブを含むロータリアンの傾聴も嬉しく思った。上級は、事前に親しむアクティビティーに励んだ後、午後の閉講式に初級と共に臨んだ。さすがは一級先輩の上級ライラ、少数精鋭の参加者には感動させられました。

大雨の為、ガバナーノミニーのお言葉も聞きにくい等、いろいろなことがあったが、閉講式も無事終了しました。



この様にして、時に厳しく、時として楽しく、2000年最後の『ライラ』は全て終わった。最後に、次回ライラには上級に挑戦してみたいとの多くのアンケート結果と、チームライラをして今回のライラをネオプログラムと言ってくれた事、我が大阪北淀ロータリークラブのメンバーも、仕事そっこのあの苦労も、今にしてみれば「楽しかったナー」の一言に尽きるとのコメントを加えておきます。